



## 『学びの繋がりと3学期への期待』

教務部主任

昨今、小学校と中学校が連携し、子どもの成長を途切れさせないような『小中一貫教育』という言葉が注目されています。みなさんも一度は聞いたことがあるのではないでしょか。具体例としては、小学校と中学校が『教育内容・指導方法・支援体制など』を共有し、お互いが協力して子どもの成長に関わっていくことがあげられます。

本新琴似中学校区では、新琴似小学校と新琴似南小学校と新琴似北小学校がパートナー校として、小中の連携した取組を行っています。6月には札教研春の研究集会にて、中学校の教職員が小学校を訪れ、授業を見学し、小学校の教職員とともに研修を行いました。先日、1月21日には、小学校の教職員が中学校の授業を見学し、パートナー校の全教職員と研修を行いました。小学校の教職員からは、「中学生になり、立派な姿で授業を受けている姿に成長を感じた。」というような声を掛けてもらいました。授業中以外での挨拶や生活の様子についても成長した姿を感じてくれた教職員もいたようでした。

2月には小学生が中学校に来て、中学校の授業を見学する予定もあります。今まで以上に、パートナー校同士の連携を強め、子どもらの成長にとって非常に大切な9年間を、より充実したものにできるようにしていきたいと思います。

さて、1月が本日をもって終了し、来週からは2月になります。3年生は、私立入試、公立推薦入試が始まります。3月には公立入試もあります。自分の希望の進路実現に向けての最終調整段階に突入することでしょう。各自、後悔の残らない取組をしてほしいと思います。小中の繋がりについては前述しましたが、3年生にとっては中高の繋がりも意識しなければなりません。高校合格はゴールではありません。今は入試のためと思っている目の前の学習は、高校での学習に繋がっていきます。ぜひ、そのような視点ももってみてほしいと思っています。

1・2年生はスキー学習が終わると、定期テストと雪中運動会があります。定期テストに向けては3年生同様に、後悔の残らない取組をしてほしいと思います。本校伝統の冬の雪中運動会はとても素敵な学校行事です。初めて行う1年生はワクワクしている人も多いのではないかでしょうか。2回目を迎える2年生は、1年生とはまた違ったワクワク感をもっているのではないかでしょうか。雪中運動会は学年で行う行事です。どちらの学年にとっても、次の年度に向けて、学年の絆がより深まるものになってほしいと期待し

ています。

最近始まったばかりだと思っていた3学期も、卒業式や修了式に向けては、あっという間に終わってしまうものです。日々何事にも全力で取り組み、今年度が素晴らしいものだったと思えるように、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



### 3学期始業式 生徒代表作文より

1年6組 1学年代表生徒

私が中学校に入学して、特に学んだことは「時間の使い方」です。

中学生になってから、勉強と部活動や習い事を両立するための時間の管理が難しいと感じます。特に提出物の管理やテスト勉強などの締め切りや期日が決まっているものは、予定をしっかりと立てなければ大変なことになります。その一方で、予定通りに終わらせることができた時は、大きな達成感が得られます。

この経験から私は、三学期でも予定を工夫して立てることで時間に余裕をもち、周りのことを見ながら行動したいです。

あと三か月で私たち一年生は先輩となって今まで支えられてきた立場から、後輩を支え信頼される立場へと変わらなければなりません。四月から急に変わることは難しいと思うので、今日から少しずつ後輩から先輩の立場になるという自覚をもって生活していくたいです。

そのための目標とする姿は困っているときに声をかけてくれた優しい先輩たちです。少しでも先輩たちに近づけるように三学期は一学年全員で頑張ります。

#### 【3学期の主な予定】

- スキー学習（1・2年）
- 新琴似歌舞伎（1年）
- 定期テスト②（1・2年）
- 私立高校入試 A・B 日程
- 雪中運動会（1・2年）
- 公立高校学力検査
- 7組卒業を祝う会
- 卒業を祝う会
- 第79回卒業証書授与式（1・2年臨時休業）
- 修了式・離任式

